

大地

四日市市立西陵中学校 第2学年 学年通信
第 43 歩
2008. 11. 18
文章責任者 学年主任 味村貴志

来年度の修学旅行について



先日は授業参観、学年懇談会に多数参加していただき、ありがとうございました。教室前廊下に掲示したエコキャップ運動に関わる壁新聞を見ていただき、感想をくださった方、この日に合わせてたくさんのペットボトルキャップを持ってきていただいた方、本当にありがとうございました。これからも生徒たちとともに学年の様々な活動を活発に行なっていききたいと思います。

さて、学年懇談会の席上では来年度の修学旅行についての発表をさせていただきました。方面はこれまで通り「関東方面」ですが、首都「東京」以外の見学地を横浜から「鎌倉」へと変更させていただきました。首都「東京」に関しましては、国会議事堂や様々な官公庁などを見学し、日本の首都についての見識を深めるという大きな意義がありますが、その他については、学習する内容によって変更してもよいと考え、今回は歴史、文化など、様々な側面の学習が可能な「鎌倉」を行き先にすることにしました。

行程の詳細は決定し次第、広報していくことにしますが、現在は以下のところまで決まっていますのでお知りおき下さい。

(日程) 平成21年5月20日(水)～22日(金)
(行程) 20日 四日市→鎌倉～鎌倉周辺分散学習～鎌倉周辺泊
21日 鎌倉→東京～東京都内分散学習など～東京泊
22日 東京都内見学(国会など)→四日市)

【学年懇談会の内容】 学年懇談会には9名の方に参加していただきました。ここでは、学年の方から「2学期に入ってからの成果と課題」を話させていただき、これについて質問やご意見をいただくという形で進めさせていただきました。

(成果)

- ・体育祭、文化祭のとりくみを前向きに頑張り、充実した活動ができたこと。
- ・エコキャップ運動のように学年独自のとりくみを考え、これについても前向きに頑張り、その成果を文化祭で発表できたこと。

(課題)

- ・思春期特有の傾向として、様々な悩み事を抱え、そういう中で友達関係がうまくいかないことを訴える生徒が増えていること。
- ・また、中だるみ傾向として、授業を初めとして、服装のルール、係の活動、掃除など、学校生活の様々な面で落ち着きに欠けること。

これに対して、特に課題について心配をいただき、実際の様子や今後のとりくみについていくつか質問をいただきました。現在、学年としてとりくんでいることは以下の通りです。

- ・教育相談を通して、一人ひとりの悩みを詳細に聴き取り、アドバイスしていくこと。
- ・学年、学級の様子についてこれまで以上に通信、HPなどで知らせていくこと。また、担任が各家庭と連絡を取り合い、これまで以上に関係を密にしていくこと。
- ・生徒の現状を正確に理解し、その上で生徒のやる気を引き出す魅力的な授業づくりを頑張っていくこと。

徐々に子供たちは中だるみの時期から抜けだそうとしています。この時期を支えるには学校と家庭の連携が不可欠です。日頃のご家庭での様子や学校生活への質問など、どんな些細なことでも結構ですので、何かありましたら気軽にご連絡下さい。